

## 南砺市 SDGs 未来都市市民会議からの提言に関する取組状況調査結果について

「南砺市 SDGs 未来都市計画」及び「南砺市 SDGs 未来都市推進実施計画」の指標等の進捗状況の確認を行う南砺市 SDGs 未来都市市民会議からの提言に関して、行政における取組状況等調査を実施しましたので、その結果を報告いたします。

### ■各提言に関する取組状況、課題、今後の方針

提言① 〈環境〉	環境省が脱炭素のモデル地域づくりとして全国に募集している脱炭素先行地域に手を挙げ、森里川海プロジェクトの推進と地域の活性化（特に地域交通の課題解決）に取り組むこと
-------------	---

#### <取組状況>

- ・脱炭素先行地域申請に向けて事業者等と協議中。【エコビレッジ推進課】
- ・比較的バス停までの距離が遠い地域における市営バスデマンド運行の実証実験を実施（令和4年度）。【政策推進課】
- ・北陸コカ・コーラボトリング(株)と森林関係諸団体と行政からなる「うるおいの森づくり支援会議」を毎年実施。今年の計画も根踏み活動から植林活動まで3回に分けて実施予定。昨年は200名ほど参加。【林政課】

#### <課題>

- ・8月の先行地域申請にあたって、地域の合意形成や事業検討に時間を要することが課題。【エコビレッジ推進課】
- ・自家用車使用率が高く公共交通ニーズが低い地域性、普及啓発不足。【政策推進課】
- ・参加者の顔ぶれが同じ。これまでとは異なるアプローチで参加者を増やす努力が必要。【林政課】

#### <今後の方針>

- ・第4回先行地域応募に向けて、検討項目を整理して協議を進める。【エコビレッジ推進課】
- ・地域づくり協議会等と連携し、公共交通利用促進について積極的な普及啓発を図るとともに、複数の地域拠点を持つ地方都市における公共交通先進地域を目指していく。【政策推進課】
- ・TOGA 森の大学校を卒業された塾生の生の声で森の暮らしについて魅力を語ってもらい、参加者等に森林保全や植林の意義について深堀し、リピータの増加や新規参加者発掘へつなげていく。【林政課】

提言② 〈社会〉	こども食堂を地域づくり協議会でも実施していただくなど、地域に子どもたちを中心としたあらゆる世代が集える居場所をたくさんつくること
-------------	--

#### <取組状況>

- ・子どもの居場所づくり促進事業補助金により、子どもの居場所づくりを実施する団体を支援している（令和4年度5件）。【こども課】
- ・地域づくり協議会で、地域課題解決の取り組みとして、貧困や家庭での悩みを持った、支援が必要な子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを実践するきっかけづくりとなるよう、地域への交付金の加算制度を令和5年度より実施する。【南砺で暮らしません課】

#### <課題>

- ・事業を継続的に取り組むときの人材確保が課題となっている。【こども課】
- ・対象となる子どもや大人を限定しない、地域に開かれた形での実践を想定しており、いくつかの地域づくり協議会での取り組みが見込まれるが、単なるイベントにならないよう、理解を深める取り組みが必要。【南砺で暮らしません課】

#### <今後の方針>

- ・補助事業の説明会等を通して地域の実施主体に実践を呼びかけていく。【こども課】
- ・取り組み事例を共有し、多くの地域づくり協議会で取り組まれるよう、支援していく。【南砺で暮らしません課】

提言③ 〈社会〉	若者を支える“大人”への働きかけを行い、SDGsを意識した教育活動を展開していくこと
-------------	--

#### <取組状況>

- ・中学校のPTA役員会においてSDGsの出前講座を実施（令和4年度）。【エコビレッジ推進課】
- ・小・中学校校長会にてSDGs出前講座の活用を呼びかけている。【エコビレッジ推進課】
- ・SDGsを達成するため、ESD（持続可能な開発のための教育）の考えを踏まえた、ふるさと教育の推進に取り組んでいる。ESD推進拠点であるユネスコスクールに福野小学校がH29(2017)年に加盟し、上平小学校はユネスコ本部に加盟申請中である。【教育総務課】

#### <課題>

- ・働き世代へのアプローチ機会が少ない。【エコビレッジ推進課】
- ・SDGsを意識したふるさと教育に取り組んでいる学校が全地域に広がっていない（8地域のうち6地域）。【教育総務課】

### <今後の方針>

- ・積極的な出前講座実施の呼びかけを行っていくとともに、イベントやブース出展を通じて、子供だけでなくその親へも意識啓発を図る。【エコビレッジ推進課】
- ・取組事例を共有するなどして、市内小中学校全校においてSDGsを意識したふるさと教育に取り組むよう呼びかけていく。【教育総務課】
- ・生徒のほか教員や地域住民も対象としたSDGs関連の講演会、特別講座等を学校行事としての実施を検討していく。【教育総務課】

提言④ 〈社会〉	南砺市在住の外国人が安心して生活できるよう、地域とのつながりを持てる体制をつくること
-------------	--

### <取組状況>

- ・令和4年度になんと未来ミーティング（外国人コース）を開催し、「防災」にテーマを絞って南砺市在住外国人の意見を伺った。【情報政策課】

### <課題>

- ・令和4年度に実施したなんと未来ミーティングにより、南砺市在住外国人の防災に関する意見を聞くことができたが、その他の点についてどのような問題があるか把握できていないため、どのように支援して良いか分かっていない。【政策推進課】
- ・地域づくり協議会における外国人との交流活動はほとんど行われていない。【南砺で暮らしません課】

### <今後の方針>

- ・市内在住の外国人ママとその家族を対象として、南砺市の将来について意見や質問を頂くなんと未来ミーティングをR5年度に開催予定。【情報政策課】
- ・南砺市在住外国人を対象とした市民意識調査を令和5年度実施予定。外国人の意識調査結果をもとに、外国人が抱える課題を把握し、解決につながる施策の検討を進める。【政策推進課】

提言⑤ 〈経済〉	農業の再生という地域課題の解決に取り組む基盤整備の実現に向けて、農業者・加工業者・販売者と行政及び市民等で構成される会議体を創設すること
-------------	--

### <取組状況>

- ・令和4年度に国採択を受けて取り組む「有機農業産地づくり推進緊急対策事業」の検討会では、生産者のみならず、加工、販売、消費に関する方々にも参画いただき、一体となって産地の自立に向けた活動を進めている。【農政課】
- ・産地の自立のために、販路の開拓について、市内米菓会社とタイアップし、有機米を団子等に加工する等マッチングを進めている。【農政課】
- ・有機農業の活動の輪を広げていくため、有機農業への理解を深める研修会を開催した。【農政課】

### <課題>

- ・市民の有機農業の認知が低い【農政課】

### <今後の方針>

- ・生産だけではなく、加工や販売を含む出口戦略を一体的に進め、着実な地域への定着を目指していくことが大切で、地域連携によるブランド化と地域循環による持続化を更に図っていく。【農政課】
- ・関係団体、販売業者、加工業者で構成する南砺ブランド商品開発支援実行委員会に、農産物のブランド化で農業者にも参画いただけないか検討していく。【商工企業立地課】

提言⑥ 〈経済〉	市民のエシカル消費（※）に対する意識を向上すること ※人・地域・社会・環境に配慮した消費行動
-------------	---

### <取組状況>

- ・エシカル消費に関するチラシを制作・配布（令和3、4年度）。出前講座による啓発活動の実施。【エコビレッジ推進課】
- ・プレミアム付き商品券の発行を支援し、市内での消費喚起につなげている。【商工企業立地課】
- ・伝統的工芸品産業に対して、事業継続や工芸品購入補助などの支援を行っている。【商工企業立地課】
- ・地産地消、地場産物の周知啓発用品（下敷き）を作成。【農政課】
- ・農薬・化学肥料不使用の地元農産物を使用したなんと自然給食ものがたりを実施（令和4年度 学校給食4回実施）。【農政課】

### <課題>

- ・市民の理解を深めるために継続的な啓発活動が必要【エコビレッジ推進課、農政課】

### <今後の方針>

- ・引き続き出前講座等により幅広い世代を対象として啓発活動を行っていく。【エコビレッジ推進課】
- ・引き続き市内消費が増となるよう取り組むとともに、伝統的工芸品産業が将来にわたって引き継がれるよう補助事業等により支援する。【商工企業立地課】
- ・子供たちや家族、そして市民に対し環境や農業に関心を持っていただけるよう、学校給食への地元農産物の活用に取り組む。【農政課】

提言⑦ 〈三側面〉	・SDGsを実現するための主役である若者が自主的にアクションできる体制・風土をつくること
--------------	--

#### <取組状況>

- ・(公財)南砺幸せ未来基金による若者向けの助成事業の実施を検討している。【エコビレッジ推進課】
- ・福光地域の若者主体によるにぎわいづくりとして、小矢部川公園を活用する「かわまちづくり」の実施に向けて検討している。【政策推進課】
- ・高校生プロジェクト「ボクなん」を実施し、高校生の主体的な活動を後押ししている。【南砺で暮らしません課】

#### <課題>

- ・若者が事業を企画して実行に移すまで、財団による伴走支援が必要。【エコビレッジ推進課】
- ・事業実施に係る河川管理者からの積極的な支援が求められるか不透明。【政策推進課】
- ・若者への効果的なアプローチ方法、市民への理解と周知方法が課題。【南砺で暮らしません課】

#### <今後の方針>

- ・助成事業制度や伴走体制の整備を進める。【エコビレッジ推進課】
- ・地域の若者が主体的に実施するにぎわいづくり創出事業の企画と実施主体となる法人の設立に向けて支援していく。【政策推進課】
- ・事業の効果を周知し市民への理解を図りながら、引き続き若者の取り組みを後押しする高校生プロジェクト「ボクなん」を実施していく。【南砺で暮らしません課】

提言⑧ 〈三側面〉	SDGs実践マップを作り、市内のSDGsの取り組みを“見える化”し、取り組みを拡大すること
--------------	---

#### <取組状況>

- ・なんとSDGsパートナーの登録により、南砺市でSDGsに取り組む事業者を見える化している。【エコビレッジ推進課】

#### <課題>

- ・SDGsパートナーの取組以外について、取組の情報収集方法やどのような形でマッピングしていくか(例えば、電子地域通貨アプリによるマップ機能を活用など)を検討する必要がある。【エコビレッジ推進課】

#### <今後の方針>

- ・SDGsパートナー制度により市内事業者のSDGsの取り組みを見える化するとともに、各課とも連携して市内のSDGsに関する取り組みを集約できる体制やマッピング方法を検討していく。【エコビレッジ推進課】

提言⑨ 〈三側面〉	みんなの意見で住みたいまちをつくるために、意見交換できる場をつくること
--------------	-------------------------------------

#### <取組状況>

- ・井波地域まちづくりビジョンの策定に向けた実働部隊「イナミライ」を結成し、定例的にミーティングを開催している。【政策推進課】
- ・中小企業、小規模事業者の振興に向け、関係者が協議、議論する場として南砺市産業振興会議を開催している。【商工企業立地課】
- ・各地区取り組み発表会を開催するなど、小規模多機能自治として、各地域づくり協議会での地域ごとの課題の解決に向けた自主的な取り組みを推進している。【南砺で暮らしません課】
- ・地域住民主体の介護サービス活動等に関する意見交換会、市民の方も参加する高齢者等の生活支援に関する会議を定期的に開催している。【地域包括ケア課】

#### <課題>

- ・ビジョン実現に向けた事業展開、起業家育成に繋がるか不透明。【政策推進課】
- ・地域づくり協議会の運営は、退職された年配の方が中心だが、若者や女性、外から入ってくる人などが関与しやすいようにして、足りないところを補える体制づくりが必要。また、相当数が見込まれる無関心層を振り向かせることも必要。【南砺で暮らしません課】
- ・意見交換に参加するメンバーが固定化している。【地域包括ケア課】

#### <今後の方針>

- ・井波地域内のエリアアイディアマップの作成とビジョン実現事業実施に向けた実証実験、まちづくり法人、ファンドの組成について検討予定。【政策推進課】
- ・引き続き中小企業、小規模事業者の振興に向け、意見交換できる場として南砺市産業振興会議を開催する。【商工企業立地課】
- ・若者世代や女性が、地域づくり協議会の様々な取り組みに主体的に関わって、地域住民一人一人が必要な役割を分担し、人口減少や高齢化が進む中でも、安心して楽しく暮らしやすい持続的な地域づくりを進められるよう、検討していく。具体的には、令和5年度に各地域づくり協議会の各部会長を対象に、女性の地域づくりへの参加促進を目的としたジェンダーギャップ解消セミナーを開催予定。【南砺で暮らしません課】
- ・ネットワークを広げ、市民の方が積極的に意見交換できる場、活動いただける場を企画検討する。【地域包括ケア課】